一般社団法人アフリカ協会 主催
独立行政法人国際協力機構（JICA）後援

公開イベント・第 10 回「世界一愉しいアフリカ講座」開催のご案内

テーマ『みんなで知って愉しもう！東アフリカ（タンザニア・モザンビーク）』

アフリカ協会会員・関係者、さらに非会員も対象に、アフリカをいろいろな観点からご紹介し、愉しみながら、新たな興味と理解を深めて頂くことを目的に、アフリカ協会の情報・サービス委員会で企画・実行してきた「世界一愉しいアフリカ講座」ですが、本年度に第 10 回目を迎えます。昨年は、新たな試みとして、セネガル出身のジャンベ太鼓奏者と和太鼓の第一人者をお迎えし、セネガルを中心としたアフリカの歴史の講演と、太鼓の競演を通じた日本とアフリカの交流の実践を試みました。本年は、10 回記念の講座として、午前の部で、アフリカの文化として比較的親しみのある東アフリカ（特にタンザニア）の芸術（絵画、カンガ）の紹介、午後の部で、同じスワヒリ語・文化圏にあるモザンビークの北部地域で、子どもたちの育成や平和構築を音楽活動も使って実施している活動を紹介し、その文化やリアルに触れる、という企画となります。ご家族・お子様も愉しめる内容となっておりますので、皆様、ご家族、ご友人もお誘いの上、奮ってご参加下さい！

記

日時：2026 年 11 月 22 日（日）10:30（開場 10:00）～ 16:00 終了
午前の部：10:30～12:00
（昼食休み：昼食は外食もしくは持込の場合は 2 階セミナールーム 201/202 を使用。ゴミはすべてお持ち帰り下さい。）
午後の部：13:30～16:00

場所：JICA 地球ひろば 2 階 国際会議場　（東京都新宿区市ヶ谷本村町 10-5）

参加費：大人（18 歳以上。学生除く）1,000 円、こども・学生 無料

＜プログラム詳細＞

午前の部（テーマ：カンガとタンザニアの現代アート！）企画・実施：アウラの森芸術舎（代表：磯貝さおり）

終日展示：織本知英子氏のカンガコレクションと、アウラの森芸術舎所蔵のタンザニア現代美術作品・資料をお楽しみください！

10:30 オープニング（アフリカ協会よりご挨拶；プログラムの紹介）

10:35 「語る布」カンガの魅力（講師：織本知英子～カンガ研究家；聞き手：岡崎優子～Hapahapa 店主）＝＞カンガ研究の第一人者が、布に込められた言葉や文化、暮らしの中での使われ方等、多彩な魅力をトーク形式で紹介します！



Fabric Map of Africa © Mia Kora Ltd. / Priya Shah





左：織本知英子著

右：ポレポレオフィス訳・編

11:05 ジョージ・リランガ〈シェターニ〉対話型鑑賞（ファシリテーター：板野泉）＝＞タンザニアを代表する作家ジョージ・リランガの実物作品を前に、壇上の参加者が感じたことや発見を語り合います。会場の皆さんにも問いかけながら、一緒に作品の魅力を探ります！



ジョージ・リランガ, シェターニ、1998, 銅箔キャンバス



対話型鑑賞の様子

11:35 タンザニアの現代アート紹介（講師：磯貝さおり～アウラの森芸術舎代表）＝＞ジョージ・リランガの作品を中心に、マコンデの彫刻文化、ニュン

バ・ヤ・サナア（芸術の家）、ティンガティンガ派とのつながりをたどりながら、タンザニア現代美術の魅力を紹介します！

11:55 **午前の部クロージング**（アフリカ協会よりご挨拶）

午後の部（テーマ：モザンビークの音楽家・ナジャと愉しむ音楽とアフリカのリアル！）企画・実行：一般社団法人モザンビークのいのちをつなぐ会

モザンビークの いのちをつなぐ会
Bridge for lives in Mozambique

（代表：榎本 恵）

13:30 **オープニング～アフリカの多様性**（地域・言語・文化などの多様性を紹介）

13:50 **モザンビークを知る**（映像でモザンビークの国と人々の暮らしを紹介）

14:10 **体験タイム**（アフリカ布体験。VR ゴーグルでアフリカを実感！モザンビークの子どもが半分描いた布の絵に、参加者が絵を加えて完成！）

14:40 **ナジャの音楽ライブ！**（モザンビークの伝統楽器やオリジナル曲で、迫力の演奏を実演。音楽でアフリカのリアルを体験！）





15:20 **世界に届きにくいアフリカのリアル！**（モザンビーク北部の社会問題と子どもたちの暮らし、寺子屋活動の紹介。そのリアルを知って下さい！）

15:35 **呪術のお話**（モザンビークで実際に聞いてきた呪術と人々の暮らし！）

15:50 **質問コーナー**（ナジャと代表・榎本氏に質問して、一緒に考える！）

16:00 **クロージング**（アフリカ協会よりご挨拶）　以上